

## 経済経営学会学生研究助成金報告書

2026年2月28日

壺内ゼミ2年生

### 1 専門ゼミナールの目的

本ゼミは株式市場や株価変動を分析するゼミであり、アクティブラーニングとして日本経済新聞社、野村証券が共催するビジネスコンテスト（STOCK リーグ）に出場することとしている。このコンテストでは自分たちが作った金融商品の収益性や社会への貢献性などを競い合う。そのため、2年生では企業数値（財務諸表や損益計算書、キャッシュフロー計算書）の見方を学習し、これら会計情報を使った企業分析や統計分析の能力を高めていくこととなる。そして、3年生前期はビジネスコンテスト（野村証券と日本経済新聞が主催するストックリーグ）のテーマを決め、最適ポートフォリオを組むために、テーマに沿った企業のピックアップ、それら企業の財務分析及びポートフォリオのリスク・リターン分析、投資シミュレーションを行う。そしてこれら一連の行をレポートとしてまとめ、コンテストに提出し、自分たちが作った商品やレポートの優劣を他大学と競い合うこととなる。

### 2 ゼミ研修旅行（2026年2月17～18日：日本取引所グループ大阪取引所の見学他）の目的

STOCK リーグ提出のレポート作成のモチベーションを高めるためと、チームワークを養うことを目的にゼミ研修として春休み、日本取引所グループ大阪取引所の見学を行った。本学会の助成金はこの宿泊費に充てられた。大阪取引所ではかつて取引所があった場所で取引所の社員から株式取引などについてレクチャーをしていただいた。これらは STOCK リーグ参加へのモチベーションとなる。また、STOCK リーグでは1チーム4～5名が企業分析や企業インタビューを分担

して行わなければならない。これらを行うにはチーム内で計画、準備、作業分担、協力が不可欠となる。自分たちで旅行計画の立案、日程調整や行先調整をすることがこれら作業をスムーズにおこなう基礎となる。最後に、大学生活の中で友人と楽しむこともこの旅行の目的であった。以下は学生による研修先のレポートである。

### 3 日本取引所グループ大阪取引所の見学（金子）

ゼミ研修の一環として日本取引所グループの大阪取引所を見学した。見学では、デリバティブ取引を中心とした市場の仕組みや取引所の役割について説明を受け、金融市場の機能を具体的に理解することができた。また、投資シミュレーションを体験し、市場の動きによって価格が変動する過程や投資判断の難しさを実感した。これらによって、これまで学んできた企業分析や財務情報の重要性を改めて認識することができたと考える。また実践的な視点から金融を学ぶ貴重な機会となった。今回の見学を今後のゼミ活動において活かし、更なる知識の向上と分析力の強化を目指したい。また来年度参加予定の STOCK リーグへの取り組みにも積極的に活かしたい。

### 4 グループ別行動に関する報告（永山）

2 日目のグループ行動では学生自身で大阪市内を中心に訪問先を検討し、限られた時間を効率よく活用できるよう事前に計画を立てて行動した。私のグループは、ユニバーサルスタジオジャパンを訪れた。園内には映画やアニメの世界観を再現したエリアが数多く設けられており、来園者が非日常的な体験を楽しめるよう工夫されている点が印象的であった。各アトラクションやショップでは、装飾や音楽、スタッフの対応まで世界観が統一されており、空間全体で来園者の満足度を高めていると感じた。特にキャストの接客は非常に丁寧で、笑顔や積極的な声かけによ

って来園者の期待感を高め、テーマパーク全体の価値向上につながっているのではないかと感じました。今回の訪問を通して、エンターテインメント施設における顧客満足の重要性や、サービスと空間演出を組み合わせた集客戦略について実際に学ぶことができ、いい経験となりました。また、グループでの活動をしたことでより仲が深まり、チームワークを養うことができました。